

特定家庭用機器廃棄物の再商品化等の実施状況～22年度実績～

平成21年4月1日から平成22年3月31日までに、特定家庭用機器再商品化法に基づき日本サムスン株式会社が実施した再商品化等実績をご報告します。

特定家庭用機器廃棄物実施状況の総括(22年度)

	テレビ	液晶テレビ	冷蔵庫	洗濯機
引取台数(台)	74,875	9,496	10,391	8,124
処理台数(台)	65,532	8,201	10,299	8,213
処理重量(t)	1906	109	659	284
再商品化重量(t)	1490	76	490	233
再商品化率(%)	78%	69%	74%	81%

施行規則第47条第1号に基づく総括(22年度)

1.製品の部品または材料として利用するものに有償または無償で譲渡しうる状態にした場合の当該部品および材料の総重量(t)

	テレビ	液晶テレビ	冷蔵庫	洗濯機
鉄	155.7	40	300.6	130.6
銅	54.7	1.1	7.3	3.7
アルミニウム	1	4.6	0.2	3.3
非鉄・鉄等混合物	24.4	1.7	63.6	31.6
ブラウン管ガラス	900.3	0	0	0
その他有価物	354.1	28.7	118.2	63.4
総重量	1,490	76	490	233

2.冷媒として使用されたものを回収した総重量(kg)

冷媒として使用されていたフロン	総重量	破壊委託先に出荷した重量	破壊重量
HCF-134a	411	404	400
HCFC-22	67	66	65
R-502	136	134	133
総重量	614	604	598

3.断熱材に含まれるフロンを液化回収したものの総重量(kg)

液化回収したフロン	回収重量	破壊委託先に出荷した重量	破壊重量
総重量	2,080	2,038	1,975

*回収重量と出荷重量の差は在庫である

*出荷重量と破壊重量のなかには平成17年度分も一部含まれる

*出荷重量と破壊重量の差は破壊報告のタイムラグによるもの